



あなたの声をリレーする



あべ俊子
衆議院議員



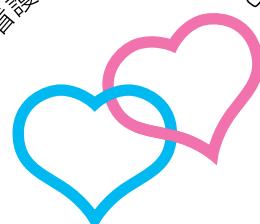
文部科学副大臣ご就任おめでとうございます！



CONTENTS

- 新年のごあいさつ……………2-8P
- 令和6年度政府予算対策希望活動……………9P
- おじゃまします キッズサポートこおりやま八山田事業所……………10-11P
- 会長コラム……………12P
- 令和5年度福島県議会議員選挙応援……………13P
- 青年部活動報告……………13P
- 研修報告……………14P
- 石田まさひろ200人集会inふくしま 案内……………15P

看護の心を、みんなの心に



能登半島地震により 被災された皆様へ

令和6年1月1日、石川県能登地方を震源とする地震によりお亡くなりになられた方々への哀悼の意を表すとともに、ご遺族の皆様へ心よりお悔やみ申し上げます。また、被災されました皆様に謹んでお見舞い申し上げます。

新年のご挨拶



福島県看護連盟会長
佐藤 美重

今年の一文字

青

新年明けましておめでとうございます。この度の能登半島地震で被災された石川・富山・新潟県の皆様のご苦労を思いますと他人事には思えません。心よりお見舞い申し上げます。1日も早い復興を願っております。

昨年は福島県看護連盟会員から初めての地方議員、遠藤利子郡山市議会議員が誕生しました。あらためて会員の皆様、ご家族ご友人、役員の皆様に感謝申し上げます。

4,528票トップ当選の意味は、女性であり看護職であることの期待票であると認識しております。早速、市議会一般質問において、子供の肥満対策や救急医療における問題点を取り上げました。今後、地方行政へ要望活動の幅が広がったと評価しております。また会員の皆様には、11月の県会議員選挙にもご協力を頂きありがとうございました。

本年は辰年ですね。「今年の一文字」には「青」を選びました。「青」のイメージは「新鮮」・「冷静」・「誠実」・「自由」などがありますね。まさに若々しい青年部を応援する色かと思います。

今年、日本看護連盟は都道府県単位で「青年部支部」を立ち上げることになりました。今までの青年部幹事や委員会メンバーの力を借りるとともに、各施設の看護責任者の皆様にご意見も伺いながら、2024年度中には設立したいと考えております。よろしくお願ひいたします。

個人的な話になりますが、同居する3人の小さな孫達が私を笑顔にしてくれる時、「自分は、1日何分ぐらい笑顔になっているんだろう」と思ったりします。「笑い」はアルファ波が増えて脳がリラックスすると言いますね。

今年一年、皆様の忙しくも大切な時間に、出来るだけ多くの笑顔がもたらされますように願ってやみません。

引き続き、「感謝・感動・挑戦」で努めて参ります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

新年のご挨拶



日本看護連盟会長
高原 静子



新年のご挨拶を申し上げます。

辰年の幕開けと同時に、能登半島を襲った大規模災害。ここに亡くなられた方々のご冥福を祈り、被災された全ての方々に心からお見舞いを申し上げます。また、被災地域で支援活動に尽力されている会員、看護職の皆様に敬意と感謝を申し上げます。

新たな年の「漢字一文字」として「高」を推す。これは「高」との区別で「はしごだか」と呼ばれるが、たかまる、大きくなる、強くなるなどの意味を持つ。2024年はトリプル改定の年です。医療・介護・障害福祉分野の職員に対する処遇改善、ICT・ロボットの導入等による職場環境の改善、人材の養成・確保・定着、医師の時間外労働時間の上限規制によるタスクシフト/シェア、第8次地域医療計画のスタート等々、目が離せない。はしごを一段一段しっかりと登り、看護連盟として政策実現に繋げましょう。



岸田総理大臣を表敬訪問



萩生田議員訪問



高原会長看護問題小委員会

新春のつどいでご講義いただきました。



新年のご挨拶



福島県看護協会会長
佐藤 博子

今年の一文字

繫

令和6年能登半島地震で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

今年は、「タスクシフト/シェア」、「チーム医療」、「多職種連携」の言葉が示すように、一層の繫がりが重要となります。その繫がりはヒトとひと、職種間、組織間、行政など様々あります。

今年の干支の辰は十二支の中で最も縁起の良い干支と言われ、様々な願いを叶えてくれるだけでなく、あらゆる物事をいい方向へ導いてくれる力があるとされているそうです。

看護協会と看護連盟の繫がりを大事にして、私たち看護職も明るい未来に邁進してまいりたいと思います。いい方向に向かいますように。

新年のご挨拶



郡山市議会議員
遠藤 利子

今年の一文字

選

「令和6年能登半島地震で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます」

明けましておめでとうございます。会員の皆様のご支援に心より感謝申し上げます。

私の今年の一文字は「選」です。昨年の議員への一歩は大きな選択でしたが、10代の進学、20代の結婚、仕事を続けるか否か、などなど常に何かを選び進んできた道のりでした。生まれた地域や両親さえも深い意味での「選」であったと思います。2024年の新成人には「生きる上で無駄なことなど、何一つない」の言葉を贈りたいと思います。私も今年一年、全ての学びの中から皆様のお役に立てるような選択をして参りたいと思います。



文部科学副大臣
ご就任おめでとうございます！

新年のご挨拶



文部科学副大臣 衆議院議員

あべ俊子

今年の一文字

想

2024年辰年は、なんとも辛く胸が締めつけられる年明けになってしまいました。

能登半島地震で亡くなられた方々のご冥福を衷心よりお祈り申し上げますとともに、被災された皆様には心底よりお見舞い申し上げます。被災地で支援活動に尽力して下さっている看護職をはじめ全ての皆様、そして全国から心を寄せて下さっている方々に、心から感謝申し上げます。国内での痛ましい大事故も起き、国外では戦火の収まる気配がありません。人間自身の努力は勿論ですが、平和で平凡な日常を心から願わざにはいられません。

この度、皆様のご支援のもと文部科学副大臣を拝命し、未来を託す子どもたちの心身を健やかに伸ばすことができる教育・スポーツ分野の推進に力を尽くして参ります。

今後とも、現場の声を聞かせて頂きながら看護が若い世代から選ばれる「魅力ある職業」になるように力を尽くして参ります。

皆様のご健勝とご活躍をお祈りし、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



あべ俊子政経セミナー



看護師の方々との勉強会



ベネズエラ避難民施設で過ごす子どもたちを訪問しました



介護議連 鈴木財務大臣申入れ



世界の民主主義について米国関係者のディスカッションに参加しました



内閣委員会での質問



農林水産委員会視察

日々の活躍はSNSでご確認ください。

Instagram



新年のご挨拶



衆議院議員

たかがい恵美子

今年の一文字

幸

初春の穏やかな日和に皆様の健康とご多幸を祈りながら、スタートダッシュで職務に臨んでおります。

福島県看護連盟の皆様には変わらぬご厚情を賜り、加えて能登半島地震被災地へのご支援もいただきおり、深く敬意を表します。私も一刻も早い生活再建に向け、手厚い支援体制の構築を進めて参ります。

また党におきまして、派閥における政治資金不適切取扱い事件を端緒に、政治刷新本部が設置されました。高階は本部役員に任命され、1月11日の初会合で「議員一人一人が解体的な出直しをする覚悟を持って誤りを正し、国政の健全化に資する制度整備を急ぎ、信頼が得られるよう切磋琢磨したい」と抱負を述べました。

何時いかなる状況にあっても、問題を解決するために適正な手順を踏む!という看護職の専門性を活かして努力を惜しまず使命を果たして参ります。



IPU会議で日本議員団代表発言



総理申し入れ(国際協力調査会)



「女性の健康と社会問題」政策討論会



東日本大震災復興特別委員長就任



文化立国調査会にて「文化講座」を開催

日々の活躍はSNSでご確認ください。

Instagram



新年のご挨拶



参議院議員
石田まさひろ



令和6年能登半島地震により、被害に遭われました皆様にお見舞いを申し上げます。また、看護職をはじめ被災地で懸命に支援活動を行われているすべての皆様に心から敬意を表します。一日も早い復興に努めて参ります。

私の今年の一文字は「昇」です。

「看護婦等の確保を推進するための措置に関する基本的な指針」が看護師の確保推進という指針の目的を果たすため、時代に即した指針へ31年振りに改定されました。今後益々看護職の需要が高まり、また、日本全体で賃上げが課題となっている今こそ、看護職も賃上げに向けて力を尽くす時です。

本年も引き続き、看護職の賃金上「昇」に向け、看護連盟・看護協会と連携しながら全力で活動して参ります。



予算委員会で質問



女性局長代理を務めています



予算・税制等に関する政策懇談会にて



展示会を視察



参議院予算委員会

日々の活躍はSNSでご確認ください。

Instagram



新年のご挨拶



参議院議員
友納りお



謹んで新年のご挨拶を申し上げますとともに、令和6年能登半島地震により、被害に遭われました皆様に心よりお見舞い申し上げます。また、看護職をはじめ懸命に支援活動を行われているすべての皆様に心から敬意を表します。

皆さまに国政の場へ送り出していただいてから約1年半が経過しました。昨年の国会では、看護職の処遇改善、医療現場のハラスマント、医療安全、訪問看護への支援等を訴えました。通常国会においては、看多機の定義を明確にする介護保険法等の改正もなされ、看護師出身の弁護士として看護職に関する法律を整備する自身の役割を再確認したところです。

本年が皆さまにとってよりよい一年となりますよう祈念致します。



加藤厚労大臣への申し入れ



宝島へき地診療所



厚生労働委員会 質問



第212回臨時国会開会式



国会議事堂をバックに

日々の活躍はSNSでご確認ください。

Instagram



医療機関等の看護職員の賃上げを可能とする 財政支援に関する要望

福島県の看護連盟と看護協会は、県選出の国会議員に看護師の賃上げを可能にするお願いをいたしました。内容は以下の2点です。

1. すべての看護職員の処遇改善が可能になるよう、必要な財源処置を講じられたい。
2. 令和6年度診療報酬改定における「看護職員処遇改善評価料」の対象をすべての看護職員に拡大するべく措置を講じられたい。

根本匠議員には復興対策本部で、亀岡偉民・森まさこ議員は党本部で、菅家一郎・上杉謙太郎議員には事務所で、星北斗議員には病院の理事長室で要望書をお渡しました。皆様からは「しっかり応援する。」との力強いご返答がありました。



令和6年度政府予算対策要望活動

12月1日に来年度の政府予算獲得のため自由民主党福島県連と友好団体が一体となって、国に対しての要望活動を行いました。自民党本部で出発式を行い、厚生労働省で、浅沼医政局長などに、省内に「訪問看護推進室(仮)」の設置、すべての看護職員の処遇改善に向けた財政支援を要望してきました。その後、4人の看護系国会議員にも要望書をお渡しすべく議員事務所にお伺いしました。あいにく、あべ議員・高階議員・石田議員は不在でしたが、秘書の方々からお話を伺うことができました。友納議員には直接要望書を手渡しすることができ、どの議員の皆様も処遇改善を含めた看護問題に尽力されていることがわかりました。





おじゃ
します。

Vol.12

重症児通所支援事業所

キッズサポートこおりやま 八山田事業所

今回は、キッズサポートグループの八山田事業所へおじゃましてきました。キッズサポートグループは未来ある子どもたちのために必要とされる支援を行う事業所であり、八山田事業所では通所する重症心身障害児のみなさんに日常生活の支援を行っています。清水代表取締役、渡邊管理者に施設内を案内していただきました。



スタッフは現在、保育士3名、看護職3名、理学療法士3名。常勤は各職2名ずつ。1日の利用定員は5名であり、取材日は3名の利用者さんがいらっしゃいました。利用者さんのそばには常にスタッフがついており、手厚く支援されています。



渡邊純子管理者

清水一浩代表取締役

POINT

1

看護職による
医療的ケア

かかりつけ医の指示書に基づき、看護師が喀痰吸引、経管栄養、人工呼吸器等の医療的ケアに対応しています。また、見学や契約時には看護師との面談も行われています。

POINT

2

安全・快適な
バリアフリー

施設内・外ともに全面バリアフリーになっており、車いすのまま入室できるので安全・快適にご利用できます。また、玄関には屋根がついており、雨天時の送迎も濡れる心配がありません。

POINT

3

成長に寄り添った
機能訓練

一人ひとりの年齢や状態などに応じて最適な支援を行っています。理学療法士がお子様に合った訓練を行い、見学や契約時に出された保護者の皆様の要望を踏まえての訓練も実施されています。

POINT

4

お子様を
送迎します

郡山支援学校から
施設まで安全に送
迎しています。



※利用者さん・ご家族に写真掲載許可得ています。



スタッフのみなさんと、利用しているお子様の笑い声が
絶えず、明るい雰囲気のある施設だと感じました。取材
させていただきありがとうございました。
三瓶

〒963-8053

郡山市八山田西4丁目136

TEL:024-983-4471

FAX:024-983-4472

MAIL:kids-annex@gaea.ocn.ne.jp

会長コラム

“今”と、“これから”と

私は、“今”という時間しか確実なものは無いことを知っているのに、過去を思い悩んだり、未来を憂いたりします。そして、「今、知っておきたい情報…」「今、やるべきこと…」など、メディアやSNSに躍らされて毎日をあくせくと過ごしています。

忙しい毎日を悪いと思っている訳ではありませんが、“今”を大切にしているか?と問われたら少々怪しいと言わざるを得ません。水の流れのように掴みどころが無く過ぎ去るような感覚があります。

確実のはずの“今”的実態は水なのかもしれません。目標を決めて我武者羅に頑張っている時は“今”を感じている暇が無く、目標が叶った時(水が器に一杯になった時)に強烈な“今”を感じれるのだと思います。昨年の地方選挙への挑戦がまさにそんな感覚でした。

今回のコラムでは“これから”に繋がるものを見こうと思います。

私たちは組織で働くとき「報・連・相(ハウレンソウ)」つまり「報告・連絡・相談」を大事にしてきましたね。しかし、流れの早い現代では効率が悪いというのです。Z世代の人たちとも相性が悪いとも言います。

効果的な方法は「確・連・報(かくれんぼう)」だそうです。「確認・連絡・報告」の順番です。最初の「確認」が重要だという意味でもあります。自立した部下を育てる為には、終わってからの報告でなく、始める前の「確認」が効果的という考え方です。「〇〇は、このようにしようと思いますが、どうですか?」などの部下からの「確認」の時間を、上司がフィードバックのタイミングにするということです。そして、「おひたし」で対応するのが良いそうです。「怒らない・否定しない・助ける・指示する」だそうです。

如何でしょう?多少なりとも、皆様の“これから”にお役に立つと幸いですが…



令和5年度福島県議会議員選挙応援



令和5年11月2日告示、12日投開票で福島県議会議員選挙が行われました。各地区候補者のみなさまの会合に参加し、多くの皆様にご協力いただきました。佐藤会長はご挨拶する機会も多く選挙期間中は大忙しました。

選挙期間中の11月10日に友納りお参議院議員が二本松市・郡山市に選挙応援に入り2つの病院と4つの選挙事務所を訪問しました。とものう議員も「自分のできることはSNSに載せ、多くの方に見ていただくこと」と移動しながらSNSにアップしていました。

枡記念病院と土屋病院では、多くの職員を前に「必ず選挙に行く」ことをとお願いすると併に病院の現状と要望なども伺いました。土屋病院では遠藤利子郡山市議も同席し、友納議員と郡山市議会選挙の当選を喜びあいました。



2023年度第1回青年部ブロックミーティング

青年部だより

11月26日に2023年度第1回青年部ブロックミーティングにZOOMで参加しました。石田まさひろ参議院議員より、「青年部が取り組み選挙戦略 -Road to 2025-」について講演頂き「一人ひとりが自立し考えて行動できる環境を作りたい。まずは自分達で考えていく事をしてほしい」と、看護師の自立(自律)の重要性を話されていました。自分たちの働いている、看護という環境を良くしていくためには、まず自分が何をすべきかをきちんと考え、それを行動に移していくことが大切だと改めて感じました。

今回初めて全国のブロックミーティングに参加しました。全国の青年部と様々な意見を共有し、交流を深め充実した時間を過ごすことが出来ました。

青年部 木戸



令和5年度福島県看護連盟 管理者研修

日時:2023.10.13(金) ZOOM参加者数:94名

研修Ⅰ テーマ:「病院機能に応じた外来看護の専門性」—院長直轄の患者支援センターの役割を中心に—
講 師:福島県立医科大学会津医療センター附属病院 副病院長兼看護部長・認定看護管理者 山田香代子先生

研修Ⅱ テーマ:「病院機能に応じた外来看護の専門性とマネジメント」—クライシスプランの活用—
講 師:(一財)竹田健康財団 竹田綜合病院 湯田ひろ子先生 (福島県看護連盟副会長)

冒頭、会長から「本年8月の郡山市議会議員選挙の勝利で、看護に向けられる視線が変わった。外来看護は地域とのハブとしてその重要性が増している」との挨拶がありました。また、ビデオメッセージを寄せて下さった、石田まさひろ議員と友納りお議員からも「患者が在宅で自分らしく暮らるために、専門性の高い外来看護が求められる」のご発言がありました。山田先生のお話からは、会津医療センターの患者支援センターは院長直轄の部門であり、病院を挙げて地域医療の充実に取り組まれていることが分かりました。また、湯田副会長のお話は、クライシスプランを活用した実例であり、精神疾患を有しても地域で暮らし続けるために必要なことは、「具体的な患者目標の設定」と、それを「医療者が共有して患者をサポートする」という実際を知ることが出来ました。最後に、各病院の外来の現状について意見交換をしました。参加者の皆様の外来に対する熱意を感じた研修でした。有我



リーダー研修(県中地区研修合同企画)

日時:2023.11.17(金) 参加者:88名 場所:星総合病院 メグレズホール

研修Ⅰ テーマ:「学びを現場に ~ruleやSystem無きところには育たず~」
講 師:栃記念病院 看護部長兼災害救急医療部副部長 阿久津功 先生

研修Ⅱ テーマ:「今、処遇改善で私たちの未来は変わる」(ビデオ講義)
講 師:参議院議員 石田昌宏 先生

今回の研修は、県と県中地区合同で企画した集合研修でしたが、石田議員は公務の都合でリモート講義となりました。

講義Ⅰでは、栃記念病院の阿久津部長から、自施設での体系的な教育システムとその発想の原点を伺うことができました。職場環境や看護の未来について考える機会になりました。

講義Ⅱでは、石田議員から、処遇改善の意味や動向を聞くことができました。講義終了後のZOOMトークでは、フロアーから処遇改善の対象者拡大を望む声があげられ、「看護職の分断を招かないように全力で取り組む」という力強い言葉を聞かせていただきました。

稻村



福島県看護協会共同企画



みんなで語ろう! 石田まさひろ200人集会 in ふくしま

日時: 2024年3月24日(日) 9:40~12:00

場所: 福島県看護会館 みらい

I基調講演 テーマ「看護の未来を見据えて、今やるべきこと」

石田まさひろ参議院議員

IIシンポジウム テーマ「いい看護をするために、今なすべきこと」

シンポジスト

北福島医療センター 看護部長 平野 典子 氏

星総合病院 法人総務人事部長 斎藤 裕子 氏

池田記念病院 看護部長 畑岡 セツ子 氏

有隣病院 看護部長 高橋 信江 氏

ときわ会グループ事務局 相談役 森屋 浩子 氏

III青年部応援演説

*どなたでもご参加いただけます

お申し込みはQRコード又は下記までご連絡ください

石田まさひろ200人集会inふくしま 参加申込書

所 属(施設名)

氏 名

連絡先(携帯番号)

お申し込み先: 福島県看護連盟

TEL: 024-973-8819 FAX: 024-973-8829



第17回連盟クイズ

問

机の上から筆箱を落としてしまいました。
筆箱の中には以下の3つが入っていました。

- ①消しゴム ②シャープペンシル ③定規
この3つの中で、命を落としたのはどれでしょう？

ヒントと応募は
QRコードから
アクセス！

応募
待ってるよ！



当選プレゼント

プレゼント1

日帰り温泉券2名様×2名

プレゼント2

スターバックスカード500×10名

応募方法 ● このページのQRコードからアクセスまたはハガキにて必要事項をご記入の上ご応募ください。

<必要事項> ● 1.クイズの答え 2.郵便番号 3.住所 4.氏名 5.電話番号 6.勤務先

応募宛先 ● 〒963-8874 郡山市深沢一丁目2-10 福島県看護連盟 宛

締切 ● 2024年2月29日(木) 当日消印有効

当選発表 ● 賞品を発送した上で、次号の広報誌にお名前を発表します。

※当選者は福島県内に在住または勤務の方に限らせていただきます。会員・非会員は問いません。

ヒントと応募は
こちらから



第16回連盟クイズ当選者 応募総数75名

伊達鶏詰め合わせセット(5名) 鈴木 美保様 矢部 均様 伊藤 恵美様 金澤 絵実様 渡邊 順子様

LINE公式アカウント「アンフィニ」の 友だちになってください！

看護の専門に関することだけではなく、それ以外のトピックも含め日々の看護に役立つような情報をお届けいたします。皆様のお声もいただきながらコンテンツの作成および整理に取り組んでまいります。どうぞ下記からご参加くださいませ。

日本看護連盟公認LINE
公式アカウント
「アンフィニ」



令和6年度
会員募集中！

正会員
年会費／7,000円

しゃくなげ会員(看護職OB)
年会費／5,000円

退職後も会員の継続をお願いします。

編 集 後 記

明けましておめでとうございます。新年号特集は、いかがでしたでしょうか。

今年も「りれい」では、看護連盟の活動がより身近に感じていただけるように、
知りたい情報をわかりやすくお伝えしていきます。よろしくお願いいたします。

(稻村)

●広報委員メンバー

委員長／稻村 真理子(公立藤田総合病院)

委員／有我 真弓(公立岩瀬病院)

委員／高久 秀樹(総合南東北病院)

委員／三瓶 華蓮(日東病院)